

「ハートフルステーション・あいち」をご存じですか

「ハートフルステーション・あいち」とは、性犯罪の被害に遭われた方のためのワンストップ支援センターとして、病院内に設けられた支援の活動拠点です。

常駐する支援員が性被害の相談、婦人科診察に関する相談、刑事手続きについての相談を受け、必要に応じ拠点病院での医師による診察や検査の付添い、臨床心理士によるカウンセリングの手配など、被害にあわれた方の負担をできるだけ減らすことを目的に設置された安心して相談できる場所です。

支援員は、女性警察官と民間の支援員から構成されています。民間の支援員は、犯罪被害者等早期援助団体として愛知県公安委員会の指定を受けている公益社団法人被害者サポートセンターあいちに所属している性犯罪被害者支援のための知識と技能を有した女性支援員です。



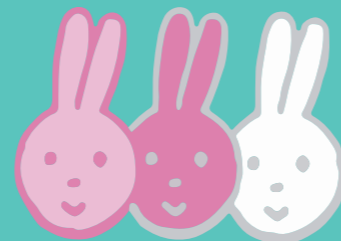
秘 密 厳 守

ハートフルステーション・あいち相談電話

☎ 0570-064-810 (愛知県内からのみ通話可能)

※相談受付は月曜～土曜の9:00～20:00(祝日、年末年始を除く)

ささいなことでも構いません。まずは、お電話ください。



Heartfull Station・Aichi

あいポート賛助会員入会・寄付

あいポート賛助会員ご入会

- 個人(一口)10,000円/年
- 法人(一口)50,000円/年

寄付はいくらからでも

事務局(052-232-7834)
もしくは下記ホームページでお申し出ください。

クレジットカード決済によるご寄付・会費は

CANPAN決済サービス

<http://kessai.canpan.info/org/aichi7830/>

(CANPAN利用者登録が必要です(登録無料))

編集後記

先日、水族館で「クラゲ」を見る機会がありました。水槽の前でしばし立ち止まり、水の中を浮遊するクラゲたちを見て、友人と「なんとも癒やされるねえ」とつぶやきました。ところが、ふと水槽の横に張ってあるクラゲの説明文の張り紙をみると、大きな見出しで「癒やされません」と書いてあり、「どゆこと?」と思い読んでみました。クラゲは非常にデリケートで、飼育員は毎朝クラゲたちの顔色?を伺い、体調を細かく管理しながら餌の量や、水質などをチェックしているの「癒やされません」という、飼育員さん達の心の声というわけでした。なあって思わずクスッとなりましたが、まさに水面下で地道な活動が行われて、いろんなことが成り立っているんだということを、改めて教えられた気がしました。事務局に来て1年9ヶ月あまりが経ちました。難しい分野ではありますが、少しでも多くの方々にセンターの存在とさまざまな活動を広めるために努力したいと思います。 事務局員 倉

あいポートNews

No.29

平成31年3月発行 (公社)被害者サポートセンターあいち

就任のご挨拶



被害者サポートセンターあいち

会長 田中清隆

昭和19年 名古屋市港区生まれ
昭和43年 名古屋大学法学部法律学科卒
昭和49年 弁護士登録
平成15年 名古屋弁護士会
(現愛知県弁護士会)会長
平成 8年 弁護士法人
テミス総合法律事務所設立

私は、昨年11月に「被害者サポートセンターあいち」の会長に就任させていただきました。どうかよろしくご支援を賜りますよう御願い申し上げます。

私は40年以上の間、暴力団対策の最前線を担当してまいりましたので、脅迫や暴力による犯罪被害には数え切れないほど多く関わってきましたが、他の犯罪被害、特に性犯罪被害などはほとんど扱ったことがありませんでした。ただ、最近、いわゆる「振り込め詐欺事件」の被害者に関わりました。残り少ない、収入も少ない人生をかるうじて支えていた財産を、完全に失ったばかりでなく、子ども達からは「なんで相談しないで勝手にやるんだ」とののしられ、馬鹿にされ、親としては「お前達の日頃の面倒見が悪いからだ。こういう時ばかり文句言うな」と反撃し、まさに家族の崩壊と親子双方に痛烈な精神的打撃を招いてしまったのです。

こうした経験から、詐欺被害といえども単なる財産的被害にとどまらず、極めて深刻な精神的被害を蒙るものであることに気づき、精神的被害の重大性に関心を持つことになりました。その観点からは、女性に対する性的犯罪も極めて重大なものであり、対応をこれらの精神的被害にも広めて行く必要を感じ、新米ながら、にわか勉強を進めているところでございます。

ただ、不条理な犯罪行為に向き合う気持ちだけは、誰にも負けないくらい強く持ち続けていますので、今後は、加害者に厳しく対抗するだけでなく、被害者の心情への配慮と思いやりの精神をしっかりと学んで行きたいと考えております。

明石市の花火大会での横断歩道橋における「群集なだれ」による死亡事故の被害者遺族の講演を聴いたり、小牧市の「ながらスマホ運転事故」の被害者遺族のテレビニュースを見聞きして、本当に被害者自身はもちろんのこと、その遺族も大変な思いに追い込まれるものだと痛感させられました。また、性犯罪による被害を受けた女性については、なかなか直接的な

状況を確認することはできませんけれども、たとえ犯罪自体は生命の危険までは及ばさなくとも、時には結果として被害者を自死に追い込むほどの、耐え難い精神的苦痛に追い込むことがあります。

世の中から、犯罪行為をなくすことは極めて重要ですが、完全になくすことは残念ながら無理でしょう。そうだとすれば、犯罪被害者やその周辺の人達の苦痛を、少しでも軽減してあげることが、共にこの世に生きる者の、そして、いつか「明日は我が身」となるかも知れない者の、当然の使命というべきでしょう。しかしながら、個々の人々の孤独な努力だけでは困難な作業です。

「被害者サポートセンターあいち」は、こうした個々の人々の思いを結合させ、背中を押し、あるべき方向へ導くべき存在なのです。

ただ、私の知る限りでは、気迫こそ溢れていても、人の面でも、お金の面でも、当センターが本来の機能を果たすためには、まだ不十分なところがあります。

しかし、幸いにして、検察・警察や弁護士との連携はすでにより高度に進化していますし、犯罪被害者給付金支給法の改正や、愛知県安全なまちづくり条例、名古屋市犯罪被害者等支援条例の制定等により、犯罪被害者に対する行政による支援体制も、少しずつではありますが進化しつつあります。また、刑事裁判への被害者参加制度や損害賠償命令制度など刑事手続における被害者支援も効果を示しつつあります。その中で、「被害者サポートセンターあいち」は、設立20周年を過ぎ、多くの課題を抱えつつも、数々の貴重な実績を上げています。私は、「被害者サポートセンターあいち」が、期待される機能を、さらに充分に発揮できますよう、こうした数々の課題に立ち向かって行きたいと考えております。どうか皆様、もうすぐ75歳にもなるのに、いまだ新米そのものである私を、どうか力強く支えていただきますよう御願い申し上げます。



「あいポートNews」発行所 公益社団法人 被害者サポートセンターあいち

〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目14番21号 TEL: 052-232-7834 FAX: 052-232-7835

<http://www.higai7830.or.jp>

この広報紙は赤い羽根共同募金分配金によって作成されたものです。

<https://www.facebook.com/aichi7830>



企業での被害者遺族講演

11月17日、岡崎通運株式会社様から、社員に向けて交通事故被害者ご遺族のお話を、というご依頼があり、あいポートの自助グループ「絆」の岡田彩伽さんが講演しました。社員の皆様には募金にもご協力いただきました。

自助グループ 岡田彩伽様の講演を拝聴して
岡崎通運株式会社 安全品質統括部 山田哲也様

弊社は、1950年に愛知県岡崎市にて創業し、同市ほかに数拠点を構えるトラック輸送を主体とした従業員約500名、保有トラック約200両を有する物流事業者です。社の基本行動方針として「目指せ 安全品質No.1!!!」を掲げ、24時間365日、お客様からお預かりした大切な商品を背負い、愛知県内を中心に全国各地へお届けに上がっております。ご承知の通りトラック輸送はそのほとんどの時間を公共の道路を利用して頂く業態です。ゆえに我々の交通事故防止への取り組みは他のどの業種よりも重要視すべきであると考え、ドライバーへの定期的な交通安全教育はマストであります。そんな折に、従業員への交通安全教育の企画段階にてあいポート様とご縁を頂き、昨年11月17日、弊社全従業員が参加する中で自助グループ・岡田彩伽様(以降、彩伽さん)にご来社・ご講演頂く運びとなりました。

講演内容は、当時小学6年生であった彩伽さんの弟様が脇見運転の乗用車に衝突される交通事故に遭遇、44日の懸命の治療も叶わず僅か8歳でその生涯を終える場面から始まり、彩伽さんご家族の生活の歯車が狂い始めた事、弟様がなくなった現実を受け止められずにいる事、加害者に対する強い憎しみなど、事故後の長きに渡る苦しい回想場面に触れながらも、最近ではご自身が運転免許を取得するまでに至った心境の変化などを経て、交通事故被害者の立場で我々職業ドライバーに対し交通事故に対する意識向上を切に願うメッセージで締め括られました。



講演に真剣に聞き入る多くの従業員の眼差しを見て、彩伽さんの苦しみと願いが込められた熱意が1人1人のハートに響いているのだと確信しました。便利な道具や卓越した技術すら、気持ちが伴っていなければその体は瞬間に崩れるという交通事故被害者の経験則が、少なからず「慣れ」に陥りがちな職業ドライバーの腑に落ちたのでしょうか。

なお、彩伽さんにおかれましては対外的なご講演は弊社がデビュー戦であったとの事ですが、500名に迫る聴衆を前に臆する事の無い堂々としたお姿に驚いた事も申し添えさせて頂きます。

結びにあたり、今回のご講演を契機に、日本の経済を支える物流事業者としての責任と誇りを携え、彩伽さんが願う交通事故ゼロ社会作りに社業を通じ貢献し続ける事をお誓い申し上げますと共に、あいポート様の活動が社会に益々浸透する事をご祈念申し上げます。

あま市安全安心大会、大府産業文化祭り、東海秋祭り等で募金活動を行いました。

募金していただいた方々に、センターのリーフレットなどとともに、企業から提供されたグッズを差し上げました。ご協力ありがとうございました。



中学校7校、高等学校11校にて、被害に遭われた方から直接お話を聞き、命の尊さを再認識していただく「命の大切さを学ぶ教室」を開催しました。



愛知産業大学工業高校にて 講師 磯谷富美子氏

被害者支援について、広く理解していただくために、さまざまな立場の方々を講師にお迎えして講座を開催しました。

名古屋市委託事業 犯罪被害者等支援入門講座(2日間)・ステップアップ講座(2日間)



犯罪被害者支援特別講演会2018を、名古屋市、県警等と共催しました。

大村秀章愛知県知事に、あいポートの活動を知っていただきたいと、主要理事が愛知県公館にて面会しました。



被害者週間(11/25~12/1)に向けての取り組みとして、名古屋市市営バス車内、JR名古屋駅、豊橋駅と名鉄主要6駅に、ポスターを掲示しました。

